

新日軽 **ファイポートRミニ** **ファイポートFミニ** 組立施工マニュアル

マニュアル番号 ME-1610

改-10

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この組立施工マニュアルをよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本マニュアルに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- このマニュアルおよび同梱されている「取り扱いの手引き」は施工後必ず施主様へお渡しください。

○注意(設置場所・設置位置について)

- この商品は一般地域用です。【積雪強度600N/m²(61.2kg/m²)・耐風圧強度：34m/s】(風力係数1.0当社計算による)積雪の多い地域・風の強い地域には取付けないでください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

— 目次 —

組立・施工の前に	1
注意(設置場所・設置位置について)	1
施工時の注意事項	1
梱包明細	2
梱包明細・構造説明図	3
納まり図	4
基礎の施工・はりの取付(単体・連棟)	5
基礎の施工・はりの取付(背面合掌)	6
前後枠・母屋の取付け、側枠・たる木の取付	7
コンクリートの打ち込み	8
屋根材および押え材の取付	8
雨樋の組立	9
連棟部の組立	10
背面合掌部の組立、車輪止めバー組立	11
車輪止めバーの取付け	12
施工完了時の注意事項	12
オプション品のご紹介	12

梱包明細

部材セット明細		
梱包名称	部材・部品名称	数量
標準柱	柱	2(2本入り)、1(1本入り)
長柱		
長々柱		1(1本入り)
はり	はり	2(2本入り)
側枠・たる木	側枠	RL各1
	たる木	2(間口23用)、3(間口30用)、6(間口51用)、7(間口58用)
	押え材	4(間口23用)、5(間口30用)、8(間口51用)、9(間口58用)
連棟たる木	連棟たる木	3(間口23用)、4(間口30用)、7(間口51用)、8(間口58用)
	押え材	3(間口23用)、4(間口30用)、7(間口51用)、8(間口58用)
前後枠セット	前・後枠	各1
	母屋	2
背面合掌カバー		1
柱・はりジョイナー		2(2本入り)
屋根材	ポリカーボネート板・熱線遮断ポリカーボネート板・クリアマットポリカーボネート板	3枚入り、4枚入り
	アルミ樹脂複合板	2枚入り、3枚入り
たて樋	たて樋	1

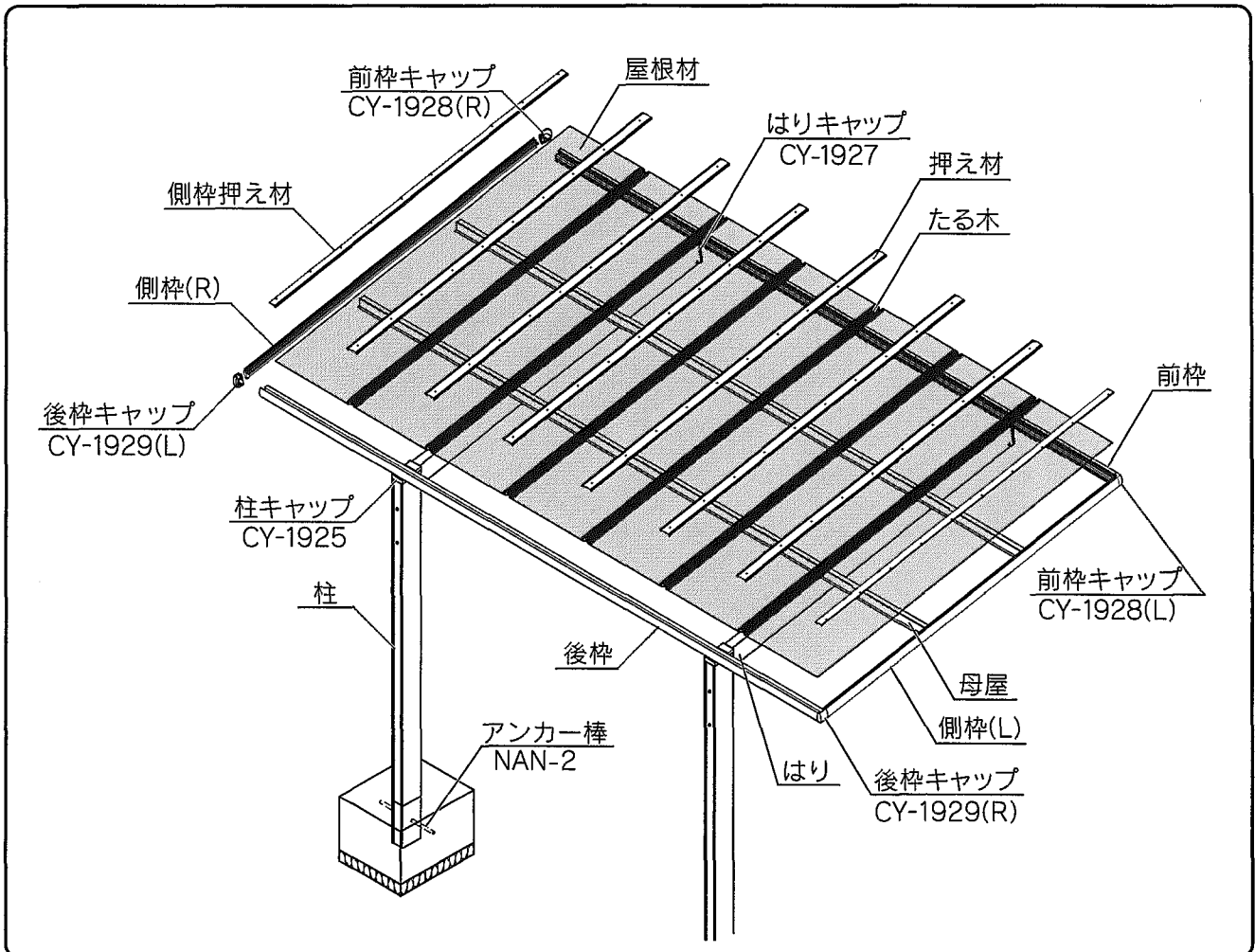
ファインポートRミニ、ファインポートFミニ 標準部品箱明細					
組立手順	部品名称	部品記号	数量		
			間口23・30用	間口51・58用	
①基礎の施工	アンカー棒	NAN-2	2	2	
②はりの取付け	M8×20六角セムスボルト	BN-1292-01	14	14	
	前後枠ピース	LB-1216	4	4	
	φ4×12トラス (タッピン3種)	3TA4×12S	9	9	
	柱キャップ	CY-1925	2	2	
	はりキャップ	CY-1927	2	2	
③前後枠・母屋の取付け	M8×20六角ボルト	BH08×020S	4	4	
	M8用平座金	ZC08S	4	4	
	M8用バネ座金	ZF08S	4	4	
	M8六角ナット	NNA08S	4	4	
	φ4×10トラス (タッピン3種)	3TA4×10S	9	9	
	孔ふさぎシール	NM-73	16	16	
	φ4×13セルフドリリングビス	DDAP4×13W	21	37	
④側枠・たる木の取付け	前枠キャップ	CY-1928	RL各1	RL各1	
	後枠キャップ	CY-1929	RL各1	RL各1	
	コーキング剤	NBC-256	1	1	
	φ4×10トラス (タッピン2種)	2TA4×10S	51	91	
⑦雨樋の組立て	雨樋部品セット (ETC-4101)	落し口	ETC-2646	1	1
		落し口バックシン	ETC-2669	2	2
		ドレンエルボ	ETC-4077	1	1
		エルボー	ETC-2435	2	2
		固定バンドA	ETC-2436	3	3
		固定バンドB	ETC-2437	3	3
		水抜き孔フサギ	ETC-2649	1	1
		φ4×12トラス (タッピン3種)	3TB4×12S	4	4
		φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	3	3
		接着剤	BC-2659	1	1

ファインポートRミニ、ファインポートFミニ 連棟部品箱明細				
組立手順	部品名称	部品記号	数量	
			間口23・30用	間口51・58用
①基礎の施工	アンカー棒	NAN-2	2	2
②はりの取付け	M8×20六角セムスボルト	BN-1292-01	14	14
	前後枠ピース	LB-1216	4	4
	φ4×12トラス (タッピン3種)	3TA4×12S	9	9
	柱キャップ	CY-1925	2	2
	はりキャップ	CY-1927	2	2
③前後枠・母屋の取付け	M8×20六角ボルト	BH08×020S	4	4
	M8用平座金	ZC08S	4	4
	M8用バネ座金	ZF08S	4	4
	M8六角ナット	NNA08S	4	4
	φ4×10トラス (タッピン3種)	3TA4×10S	9	9
	孔ふさぎシール	NM-73	8	8
	φ4×13セルフドリリングビス	DDAP4×13W	17	33
④側枠・たる木の取付け				
	コーキング材	NBC-256	1	1
⑤屋根材及び押え材の取付け	φ4×10トラス (タッピン2種)	2TA4×10S	41	81

梱包明細

ファインポートRミニ、ファインポートFミニ連棟部品箱明細					
組立手順	部品名称	部品記号	数量		
			間口23・30用	間口51・58用	
⑥ 連棟用	前後枠連結ブラケット	LB-1217	2	2	
	母屋連結ブラケット	UB-1018	2	2	
	止水パッキン	BU-1236	2	2	
	M8×14六角ボルト	BH08×014S	8	8	
	M8用平座金	ZC08S	8	8	
	M8用パネ座金	ZF08S	8	8	
	M8六角袋ナット	NFD08S	8	8	
	φ4×10トラス (タッピン3種)	3TA4×10S	9	9	
⑦ 雨樋の組立て	雨樋部品セット (ETC-4101)	落水口	ETC-2646	1	1
		落水口パッキン	ETC-2669	2	2
		ドレンエルボ	ETC-4077	1	1
		エルボ	ETC-2435	2	2
		固定バンドA	ETC-2436	3	3
		固定バンドB	ETC-2437	3	3
		水抜き孔フサギ	ETC-2649	1	1
		φ4×12トラス (タッピン3種)	3TB4×12S	4	4
		φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	3	3
		接着剤	BC-2659	1	1
ファインポートRミニ、ファインポートFミニ背面合掌部品箱明細					
組立手順	部品名称	部品記号	数量		
			背面合掌23・30用	背面合掌連棟用	
② 背面合掌用 背面合掌連棟用	柱固定ブラケット	UB-1082	8		
	背面合掌ブラケット	EB-2192	3		
	M6×30六角ボルト	BH06×030S	3		
	M6用六角袋ナット	NFD06S	3		
	M6用平座金	ZC06S	3		
	M6用パネ座金	ZF06S	3		
	背面合掌キャップ	CY-1947	2		
	φ4×12トラス (タッピン2種)	2PA4×12S	4		
	φ5×12トラス (タッピン3種)	3TA5×10S	8		
	背面合掌連棟カバー	CY-1948		1	
	ゴムワッシャー付きテクスビス	BN-310-01		4	

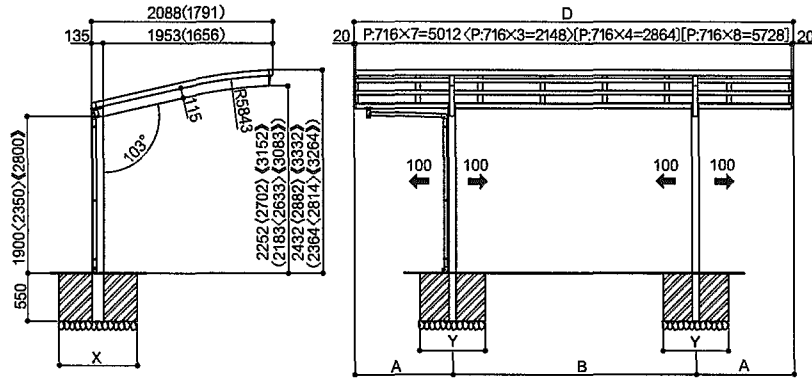
構造説明図



■ 納まり図 ■ 単体納まり図・連棟タイプ姿図

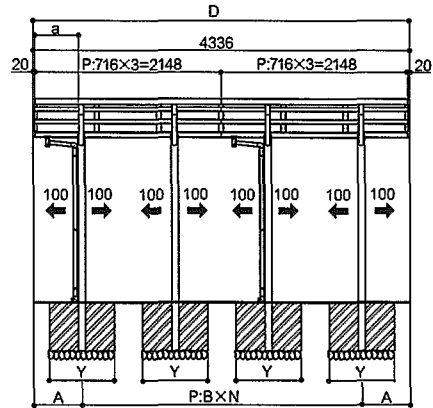
単体納まり図

- ・本図は奥行21間口51タイプを示します。奥行18タイプは()内に示します。
- ・間口23タイプは()内、間口30タイプは[]内、間口58タイプは[]内に示す。
- ・本図は標準柱タイプを示し、長柱は()内、長々柱は《 》内に示す。



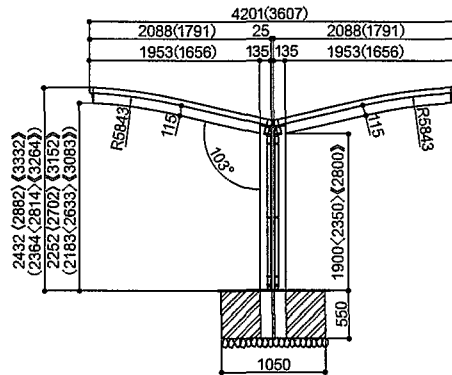
連棟タイプ姿図

- ・本図は間口L:23+L:23を示します。

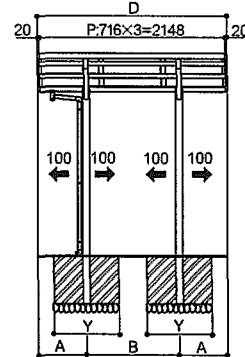


■ 背面合掌姿図

- ・本図は奥行21タイプを示す。奥行18タイプは()内に示す。
- ・本図は標準柱タイプを示し、長柱は()内、長々柱は《 》内に示す。

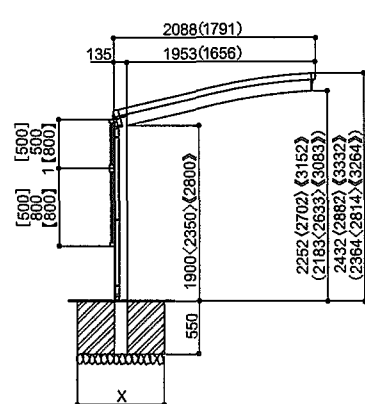


[間口:23]

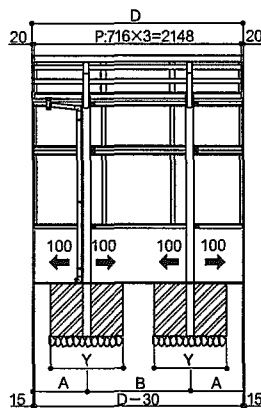


■ サイドパネル納まり図

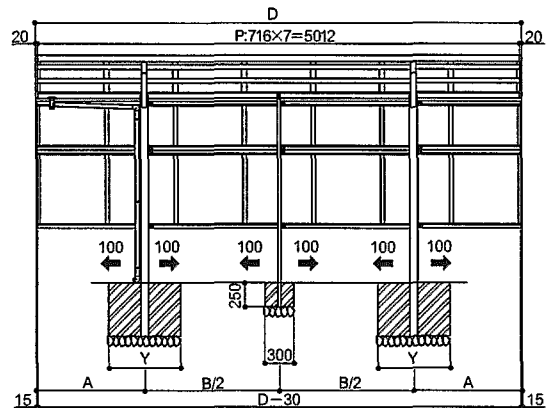
- ・本図はH:1300タイプを示し、H:1000は[], H:1600は【 】内に示す。
- ・本図は奥行21タイプを示し、奥行18タイプは()内に示す。



[間口:23]



[間口:51]



[基礎寸法表]

奥行	18		21	
	X寸法	Y寸法	X寸法	Y寸法
23	600	600	600	600
30	600	600	600	600
51	600	600	600	600
58	900	750	900	750

[単体・連棟時寸法表]

連棟数	3	4	3+3	7	8	3+3+3	4+4+4	7+7	8+8	7+7+7	8+8+8
屋根スパンn	3スパン	4スパン	6スパン	7スパン	8スパン	9スパン	12スパン	14スパン	16スパン	21スパン	24スパン
全市 D	2188	2904	4336	5052	5768	6484	8632	10064	11496	15076	17224
A	557	736	557	1126	1259	557	736	1126	1259	1126	1259
柱間隔 B	1074	1432	1074	2800	3250	1074	1432	2800x2+2212 (連結部)	3250x2+2478 (連結部)	2800x3+2212x2 (連結部)	3250x3+2478x2 (連結部)
N	1	1	3	1	1	5	5				
前後枠端部から柱中心まで a	537	716	537	1106	1239	537	716	1106	1239	1106	1239

[建築基準法対応基礎寸法表]

奥行	18		21	
	X寸法	Y寸法	X寸法	Y寸法
23	850	850	850	850
30	850	850	850	850

上記寸法表以上の連棟の場合は当社営業窓口にお問い合わせください。

※地耐力:30KN/m²以上

単体・連棟納まりの場合

1 単体・連棟基礎の施工

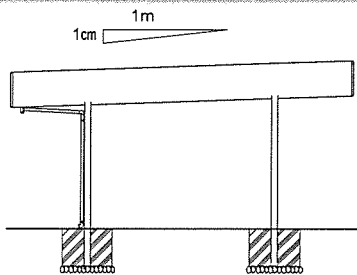
注) 背面合掌用は次ページを参照ください。

- ① 柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置・基礎寸法は納まり図を参照してください。
- ② 柱にアンカー棒を差し込んでください。



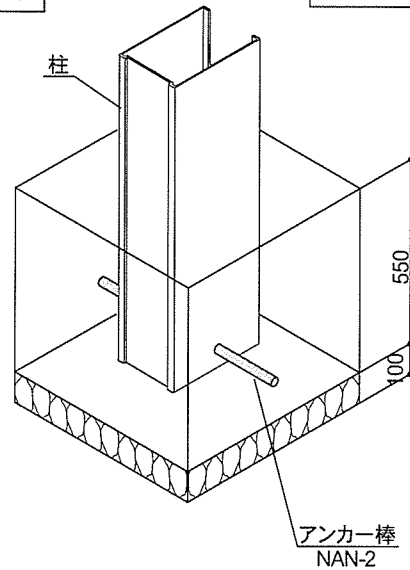
ポイント

- 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。



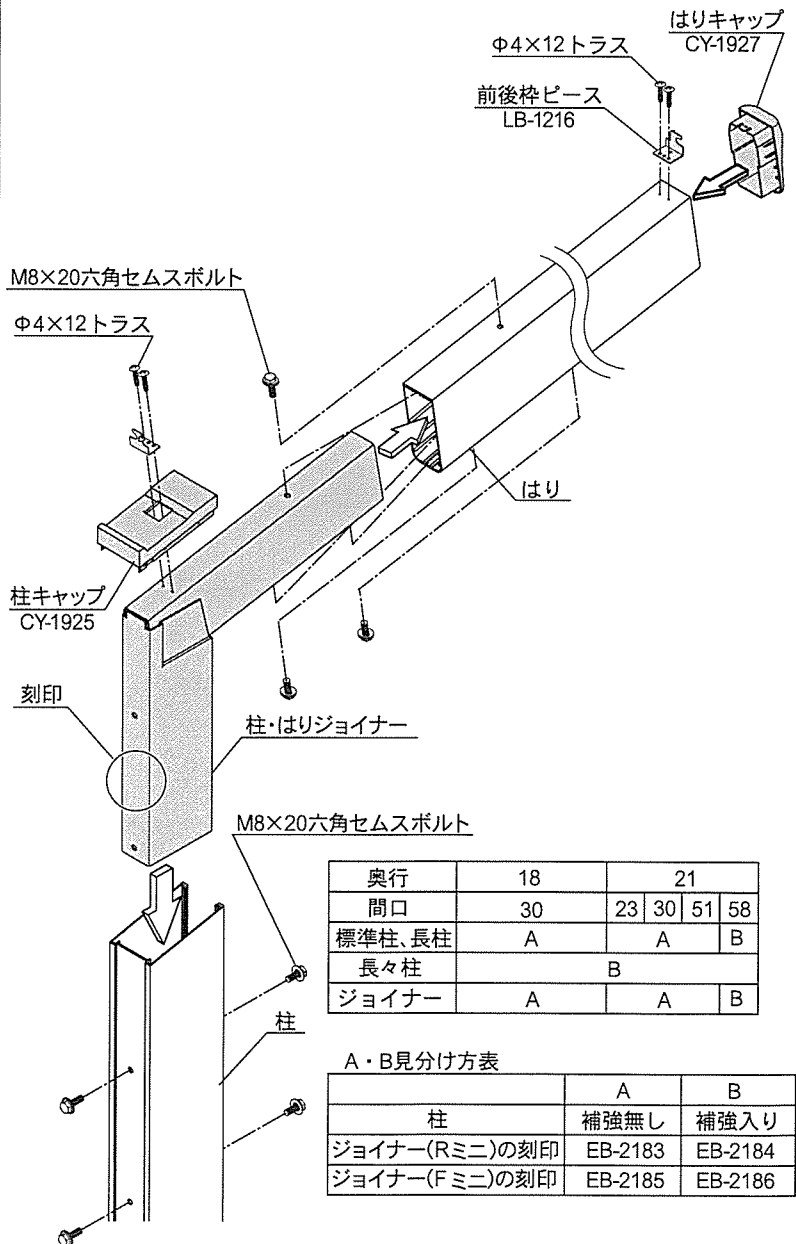
外側

内側



2 はりの取付け

- ① はりにはりキャップ、Φ10用穴ふさぎキャップを取付けてください。
- ② 柱・はりジョイナーをはり、柱に差し込み、セムスポルトで固定してください。
- ③ 柱キャップを取付けてください。
- ④ 前後枠ピースをビス止めしてください。



ボルト締め付けの際はインパクトドライバの使用はお避けください。強い力や振動でボルトが焼き付き、固着してしまうことがあります。



工事終了後には再度ボルトの増し締めを行い、確実に締め付けてください。



柱、梁、ジョイナーの組合せを表(右記)で確認し、正しく施工してください。(連棟・背面合掌時)

奥行	18	21			
間口	30	23	30	51	58
標準柱、長柱	A	A			B
長々柱	B				
ジョイナー	A	A	B		

A・B見分け方表

	A	B
柱	補強無し	補強入り
ジョイナー(Rミニ)の刻印	EB-2183	EB-2184
ジョイナー(Fミニ)の刻印	EB-2185	EB-2186

背面合掌納まりの場合

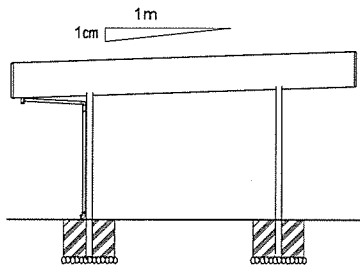
1 背面合掌基礎の施工

- ① 柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置・基礎寸法は納まり図を参照してください。
- ② 柱にアンカー棒を差し込んでください。



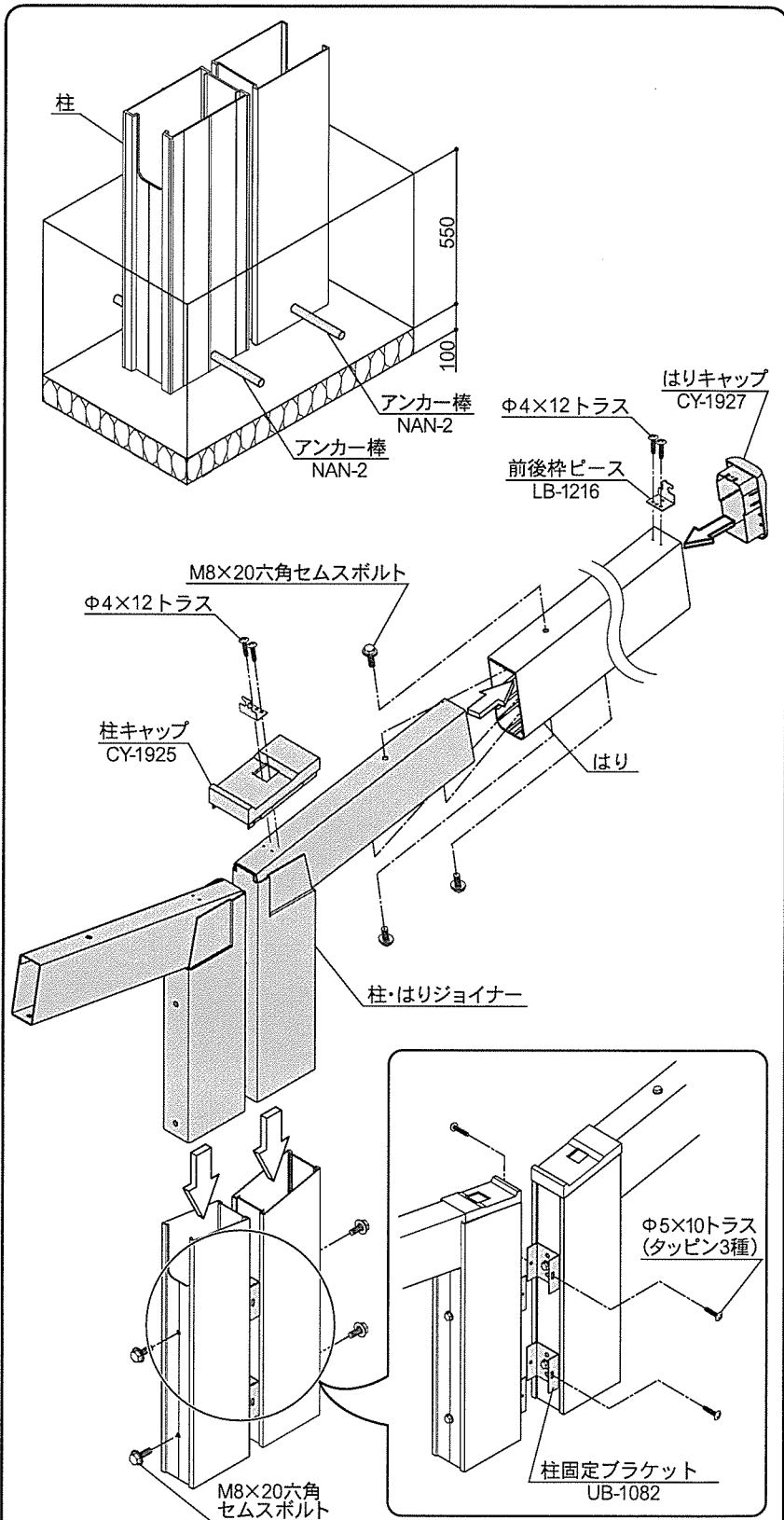
ポイント

- 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。



2 はりの取付け

- ① はりにはりキャップを取付けてください。
- ② 柱・はりジョイナーをはり、柱に差し込み、セムスポルトで固定してください。
背面合掌側は、柱固定ブラケットを一緒に取付けてください。
- ③ 柱キャップを取付けてください。
- ④ 前後枠ピースをビス止めしてください。



ボルト締め付けの際はインパクトドライバーの使用はお避けください。強い力や振動でボルトが焼き付き、固着してしまうことがあります。

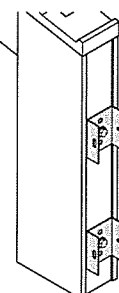


工事終了後には再度ボルトの増し締めを行い、確実に締め付けてください。



ポイント

- Rミニ、Fミニ同士の背面合掌納まりの場合
 - ・ 柱固定ブラケットを柱の上下2ヶ所にボルトで固定してください。
 - ・ 柱固定ブラケットの中央の孔にボルトを差し込んでください。
- その他の背面合掌納まりの場合は、背面合掌組立施工マニュアル(ME-1614)を参照してください。



3 前後枠・母屋の取付け

- ① 前後枠にボルトを通し、はりに取付けた前後枠ピースへボルトを通しナットで仮止めしてください。
- ② 母屋をはりにビス止めしてください。

ポイント

- 前後枠に柱中心位置スタンプがあります。この位置を参考に位置決めをしてください。(柱移動時はご注意ください)
- 母屋には向きがあります。右図を参考に取付けてください。

ポイント

- 柱移動する場合は母屋に孔加工が必要になります。使用しなくなった孔には孔ふさぎシールを貼付けてください。

4 側枠・たる木の取付け

- ① たる木を前後枠の取付孔部と母屋の切り欠き部を合わせビス止めしてください。後枠は後枠ピースがスライドしますので後枠ピースの位置を調整し後枠のたる木取付孔にビス止めしてください。
- ② 側枠、前枠、後枠の両端切口にコーキングを施し側枠にキャップを差し込み取付けてください。

ポイント

- 前枠キャップ、後枠キャップには左右があります。

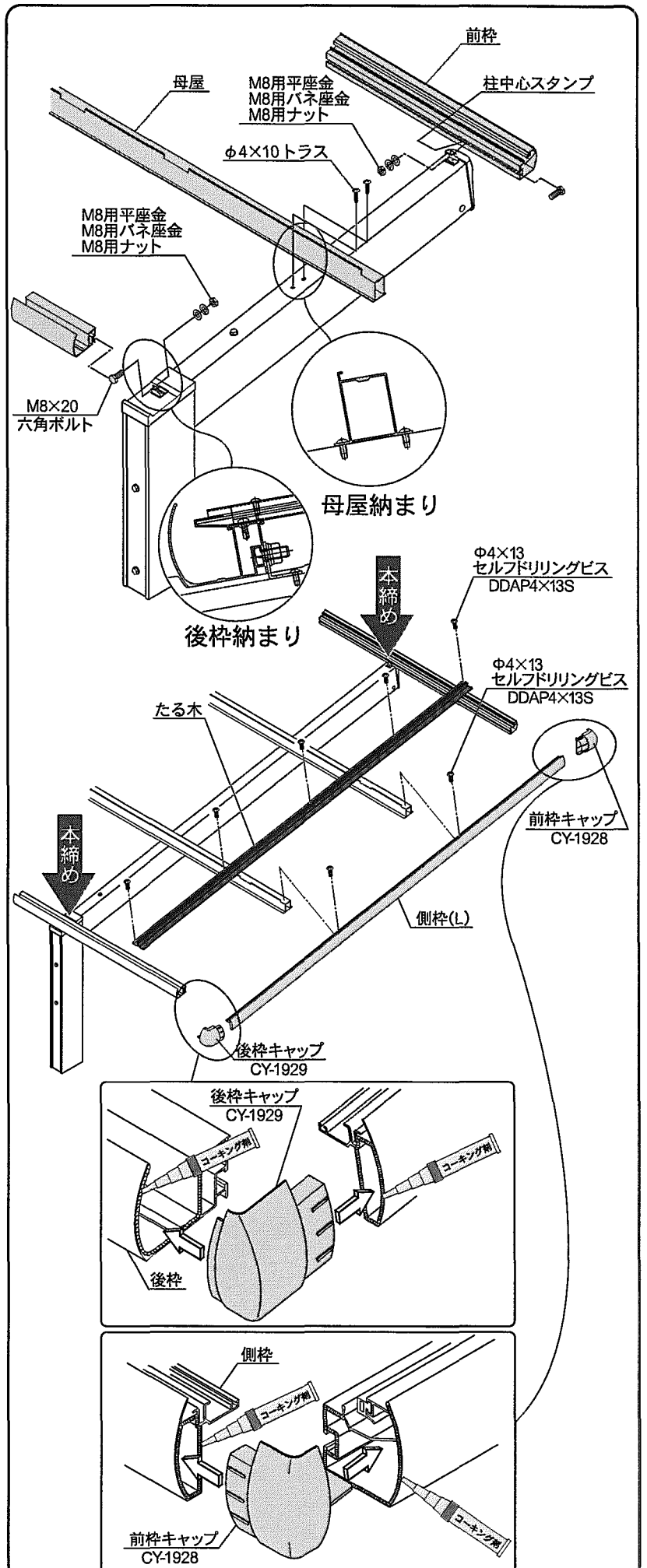
- ③ 側枠を前後枠・母屋に取付けてください。
- ④ 前後枠ピース部のボルトを止めてください。

ポイント

- ファインポートRの側枠には左右があります。シール付きを右(前枠側から見て)に取付けてください。

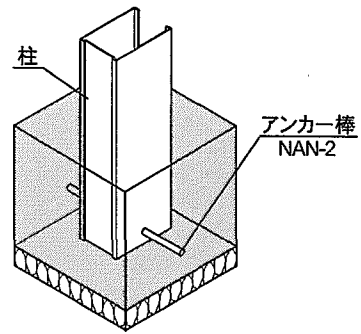
ポイント

- たる木取付けビスはφ4×13セルフドリリングビスを使用しています。電動ドライバーをご使用ください。



5 コンクリートの打ち込み

- ① 柱のアンカー棒を確認してください。
- ② 屋根の対角、柱の間隔・垂直・平行寸法が正しく
でているか確認してください。
- ③ コンクリートを流し込んでください。
- ④ コンクリートが固まるまで養生してください。
(4日～1週間程度)



6 屋根材および押え材の取付け

- ① 後枠の後枠ピースをたる木とたる木の真中
に来よう調整してください。
- ② 屋根材は先に前枠に差し込んでから後枠ピ
ースに突き当たるまで入れてください。
- ③ 前枠のビード部に押え材を押し当て、前枠側
から後枠方向へビス止めしてください。

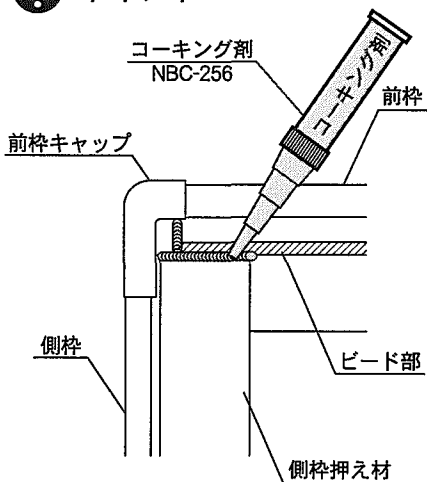
! 押え材の取付け時にインパクトドライ
イバーは使用しないでください。

! 押え材取付け時に、ビスのから回りを
防ぐために締め付けトルク15kgf・cm以
下でビス止めしてください。

! ビスがから回りをした時は、ペンチ
で垂木の溝を狭くしてから止め直し
てください。

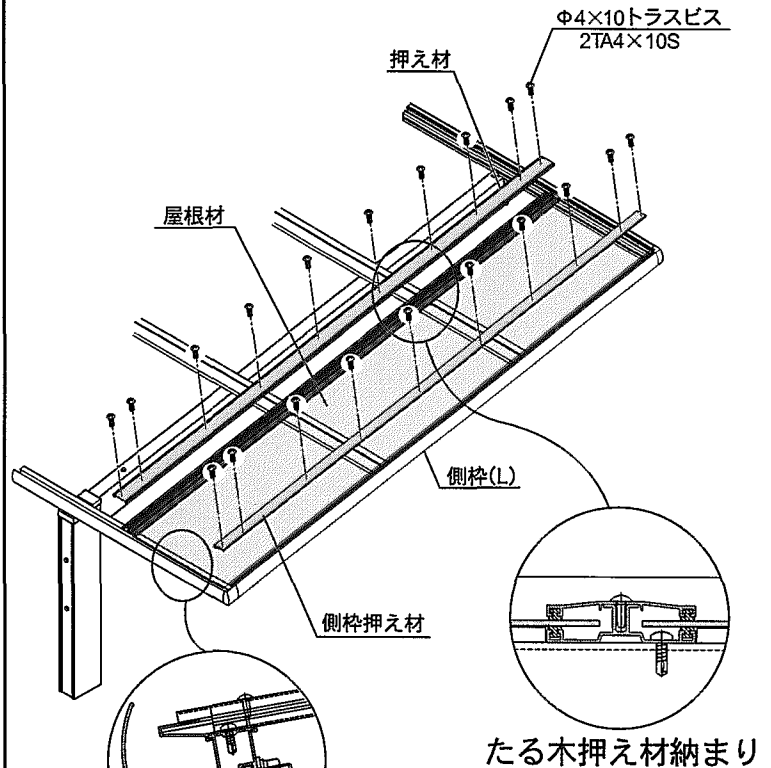
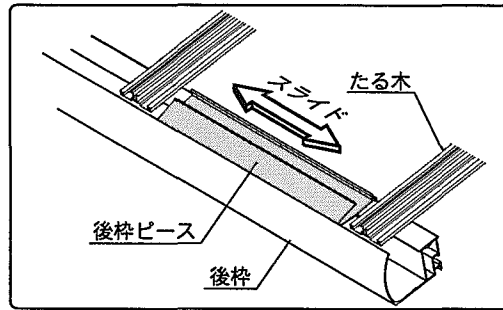
- ④ 押え材が前枠ビードに突き当たる部分と
前枠とキャップの連結部にコーキングを
施してください。

! ポイント

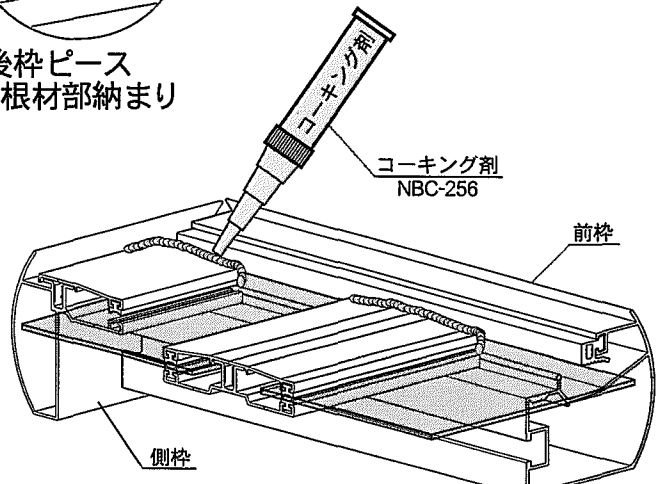


! お願い

- コーキングは確実にこなしてください。
コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因
となります。



後枠ピース
屋根材部納まり



7 雨樋の組立

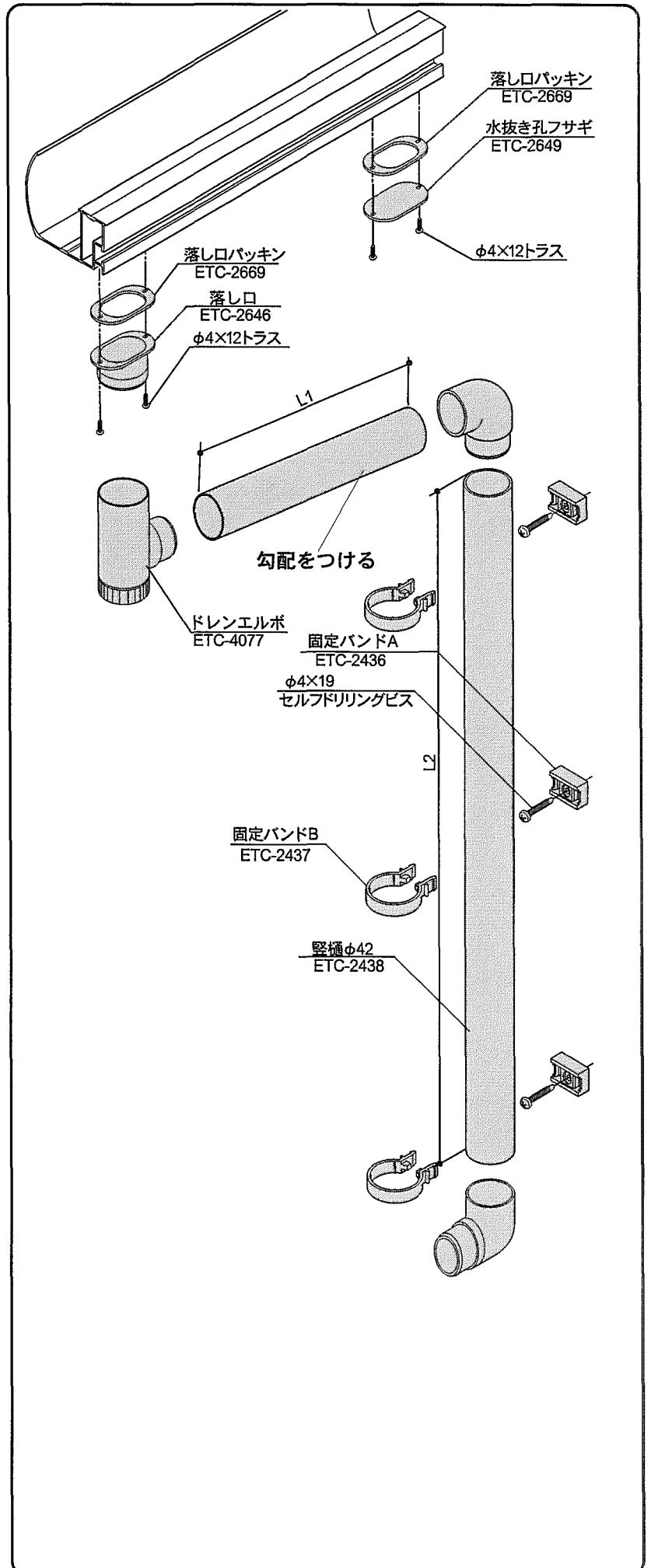
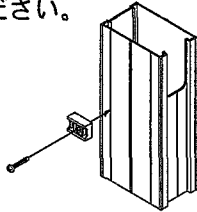
- ① たて樋の長さ(L1・L2)は現場に合わせて切断してください。(L1寸法は、下表を参照ください)
- ② 後枠の両端にある加工孔の片側(水勾配の下側)に落水口パッキン・落水口を取付けます。
- ③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
- ④ 柱3ヶ所に固定バンドAをビス止めし、固定バンドBにてたて樋を固定してください。
- ⑤ 使用しない後枠水抜き加工孔には落水口パッキン・水抜き孔ふさぎを取付けてください。

参考寸法

	柱標準位置でのL1	柱移動した時の切断範囲
L:23	264	164~364
L:30	442	342~542
L:51	827	727~927
L:58	960	860~1060

ポイント

- 横樋(L1部分)は勾配をつけてください。
- 固定バンドは、下図のように柱の溝にφ4×19セルフドリリングビスで固定してください。



連棟納まりの場合

本マニュアル5ページ単体・連棟基礎の組立てはりの取付けを参照し施工してください。

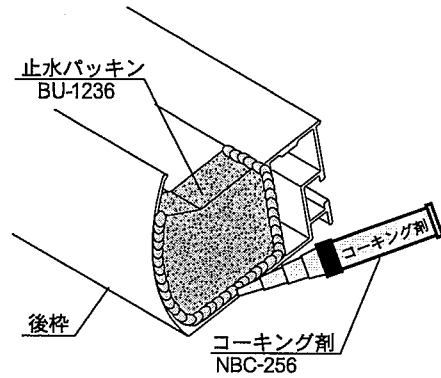
● 連結部の組立

1 止水パッキンの取付け

- ① 後枠に止水パッキンを取付けてください。連結部の後枠切口に止水パッキンを取付けてコーキングをしてください。

❗ お願い

- コーキングは確実にこなしてください。コーキングが不十分だと雨漏りの原因になります。

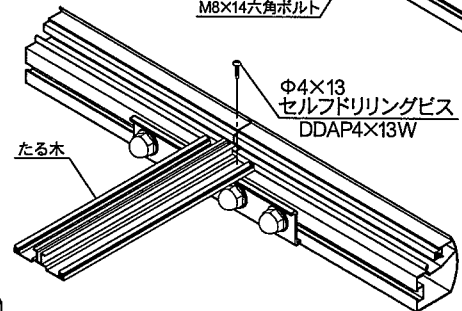
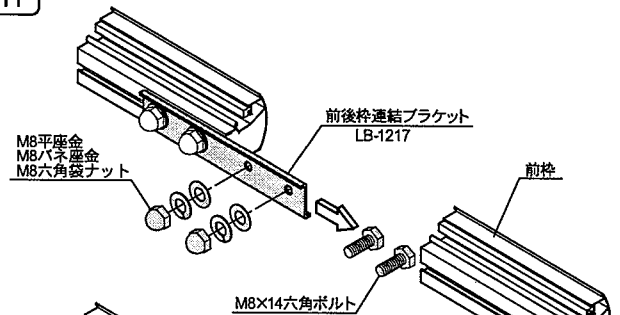


2 前枠・後枠・母屋の連結

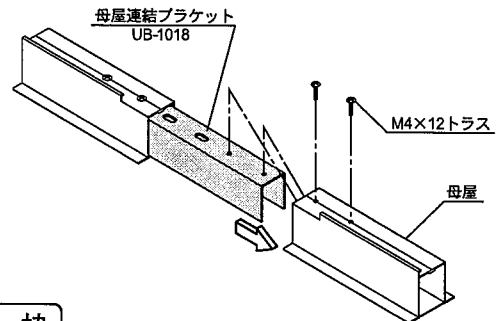
- ① 前枠・後枠・母屋を右図を参照して連結してください。
- ② たる木のセンターと連結部を合わせて、たる木をビス止めしてください。

前枠・後枠・母屋の連結後本マニュアル7,8,9ページを参照し屋根部・雨樋の施工を行ってください。

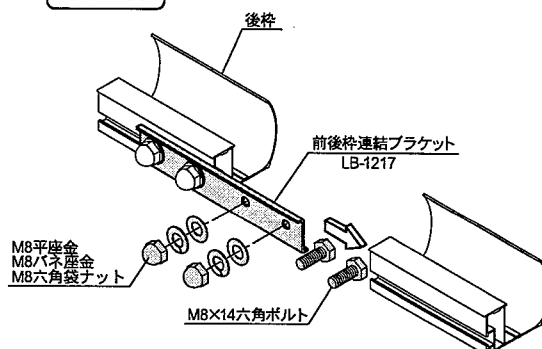
前 枠



母 屋



後 枠



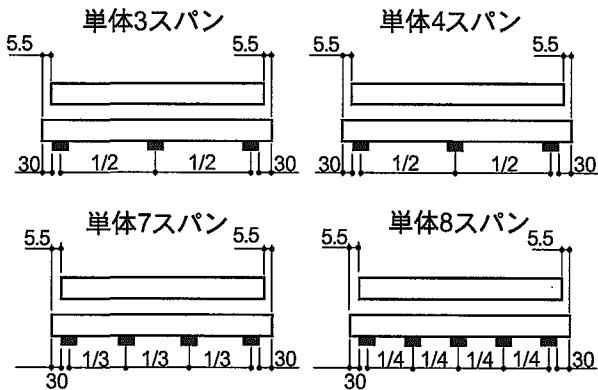
背面合掌納まりの場合

● 背面合掌カバー取付け

単体

- ① 背面合掌カバーにボルトを通し、平座金、バネ座金、袋ナットを取付けてください。(袋ナットは締め込まず、適度に止めてください。)
- ② 背面合掌キャップをトラスビスで2ヶ所止めてください。
- ③ 背面合掌カバーを後枠にのせ位置に合わせ、合掌ブラケットにて固定してください。

背面合掌ブラケット取付位置



連棟

- ① 背面合掌カバーにボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットを取付けてください。(袋ナットは締め込まず、適度に止めてください。)
- ② 単体側の固定した背面合掌カバーに連棟用背面合掌部材をつき当て固定してください。
- ③ 背面合掌連棟カバーを背面合掌連結部が真中に来るようにゴムワッシャー付きテクスビスで取付けてください。

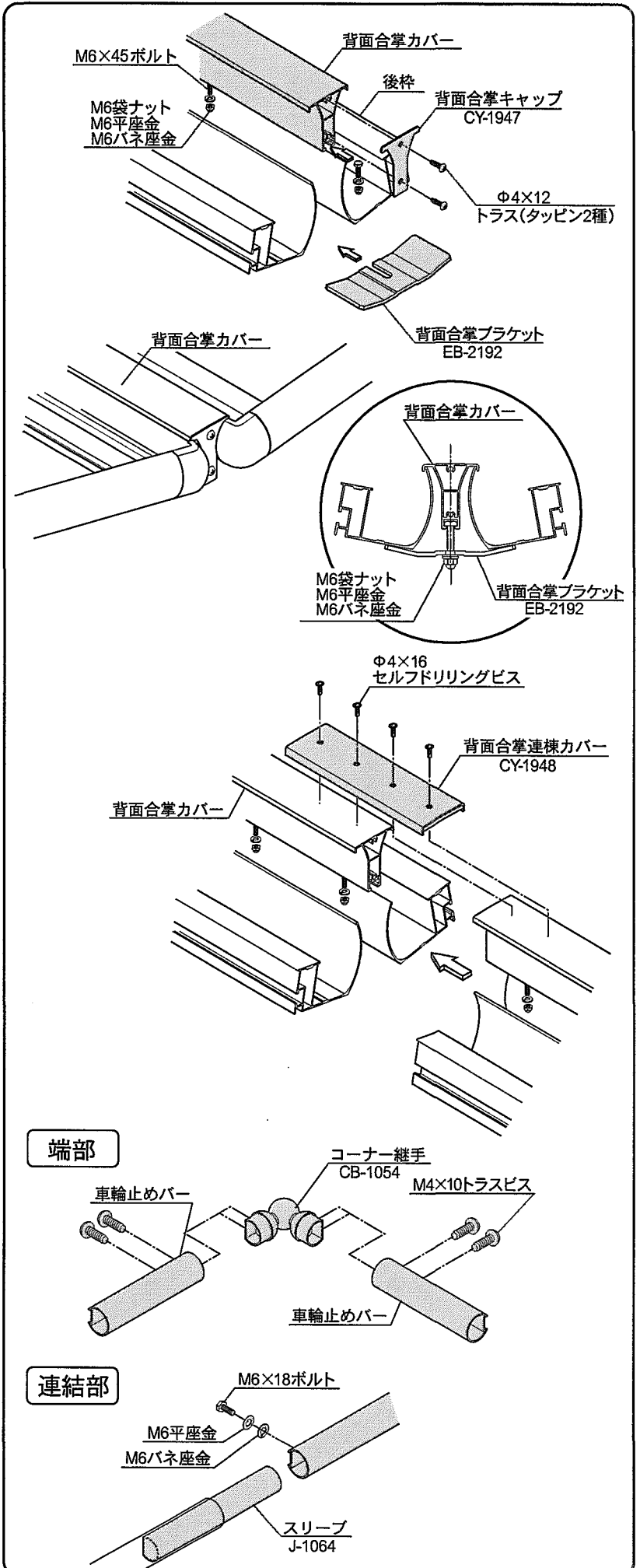
● 車輪止めバー組立

端部

- 車輪止めバーと端柱をコーナー継手(φ4×10トラスビス)にて取付けてください。

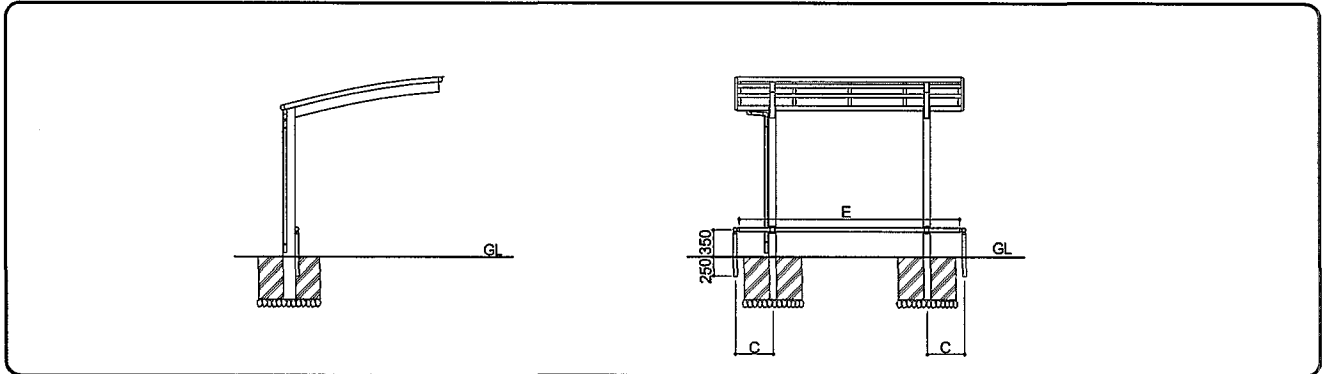
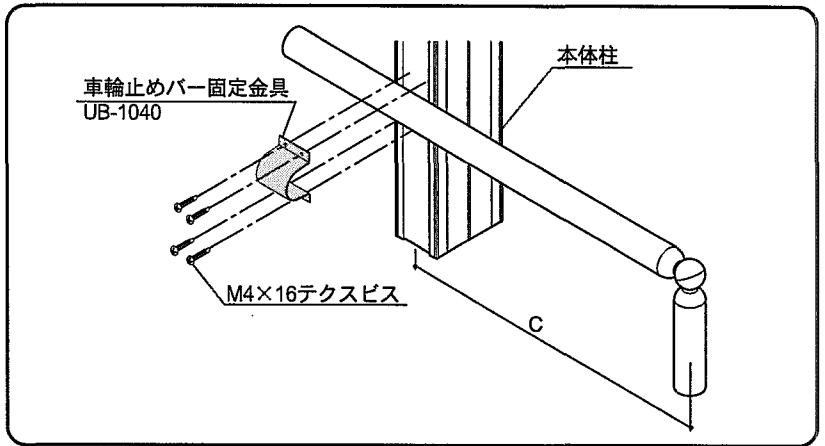
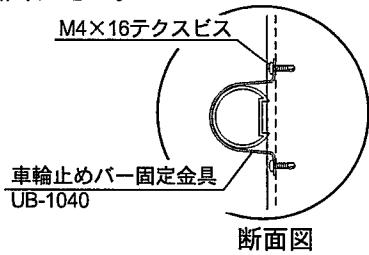
連結部

- 車輪止めバーをスリーブ(M6×18ボルト)にて連結してください。



● 車輪止めバー取付け

- 車輪止めバーを本体柱に車輪止め固定金具にて(M4×16テクスビス)固定してください。
- 取付け、埋込み寸法については納まり図、寸法表を参照ください。

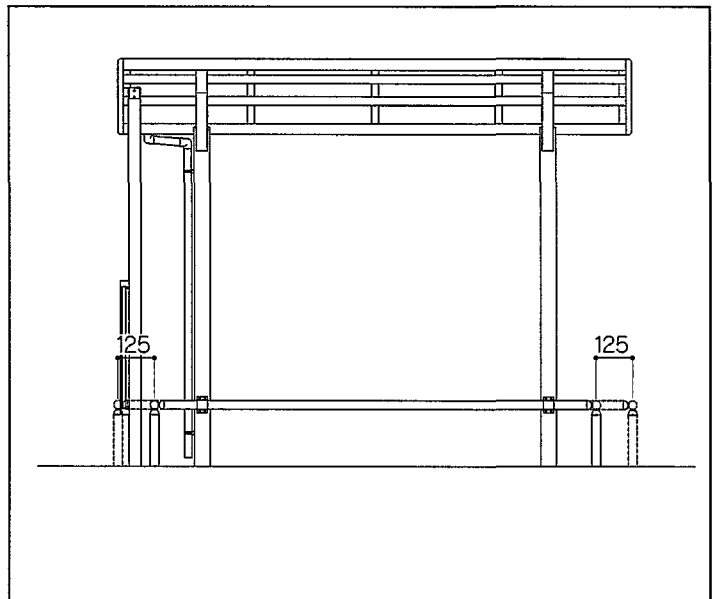


□ 車輪止めバー寸法表

車輪止めバースパン	3	4	3+3	3+4	4+4	3+3+3	4+4+4	4+4+3+3	4+4+4+4	3+3+3+4+4+4	4+4+4+4+4+4
総スパン	3スパン	4スパン	6スパン	7スパン	8スパン	9スパン	12スパン	14スパン	16スパン	21スパン	24スパン
C	592.5	771.5	592.5	1161.5	1294.5	592.5	771.5	1161.5	1294.5	1161.5	1294.5
E	2148	2864	4296	5012	5728	6444	8592	10024	11456	15036	17184



妻パネルと車輪止めバーを同時に取付ける場合は、車輪止めバーを250mm(片側125mm)切断してください。



○ 施工完了時の注意事項

- ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
- 「お取扱いの手引き」に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- このマニュアルは、施工終了後施主様にお渡ししてください。